



2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年7月28日
上場取引所 東

上場会社名 日本酸素ホールディングス株式会社
コード番号 4091 URL <https://www.nipponsanso-hd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 濱田敏彦
問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 梶山慶太 TEL 03-5788-8512
四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	308,903	11.9	40,748	34.6	40,715	48.2	25,542	42.2	24,558	42.1	99,069	58.1
2023年3月期第1四半期	276,006	26.4	30,274	23.2	27,472	11.8	17,959	9.5	17,285	7.6	62,653	207.3

(参考) 税引前四半期利益 2024年3月期第1四半期 36,226百万円(41.8%) 2023年3月期第1四半期 25,540百万円(15.0%)

コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	56.74	—
2023年3月期第1四半期	39.95	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,288,601	847,530	813,063	35.5
2023年3月期	2,158,950	757,996	724,314	33.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,160,000	△2.2	127,500	3.6	127,500	6.7	73,500	△3.2	70,500	△3.5	162.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(参考) 税引前利益 通期 102,000百万円(△3.3%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	433,092,837株	2023年3月期	433,092,837株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	233,008株	2023年3月期	232,517株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	432,860,141株	2023年3月期1Q	432,702,592株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般の概況)

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年6月30日まで)における当社グループの事業環境は、ウクライナの地政学的問題、米中貿易摩擦、世界的な物価上昇、円安の進行などにより、引き続き、先行きを見通すことが困難な状況でした。主に鉄鋼、化学、石油精製向けにオンサイトで供給するセパレートガス(酸素、窒素、アルゴン)の出荷数量は、前期比で減少しました。一方、欧米を中心にエネルギーコストは一時期の高値圏に比べ下落基調に入り、セパレートガスの製造原価に多く占める電力コストの負担は前期に比べ緩和されました。また、コスト増加分の販売価格への転嫁等の価格マネジメント、さまざまな生産性向上への取組みに、グループ全体で注力しました。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上収益3,089億3百万円(前年同期比11.9%増加)、コア営業利益407億48百万円(同34.6%増加)、営業利益407億15百万円(同48.2%増加)、親会社の所有者に帰属する当期利益245億58百万円(同42.1%増加)となりました。

為替の影響については、期中平均レートが前年同期に比べ、米ドルで131円25銭から139円63銭へと8円38銭(同6.4%増加)の円安、ユーロで138円75銭から151円89銭へと13円14銭(同9.5%増加)の円安、豪ドルで92円52銭から91円94銭へと58銭(同0.6%減少)の円高となるなど、売上収益は全体で約116億円、コア営業利益は全体で約16億円多く表示されています。

なお、コア営業利益は営業利益から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出しております。

(事業別の概況)

セグメント業績は、次のとおりです。

なお、セグメント利益はコア営業利益で表示しております。

① 日本

産業ガス関連の売上収益は、主力製品であるセパレートガス、炭酸ガス及びLPガスの出荷数量は減少しましたが、コスト上昇を背景とした販売価格の改定効果により、増収となりました。また、エレクトロニクス関連での電子材料ガスの販売は堅調で、増収となりました。機器・工事では、産業ガス関連、エレクトロニクス関連共に、中大型案件の進行基準による計上等により、増収となりました。

以上の結果、日本セグメントの売上収益は、1,076億29百万円(前年同期比13.1%増加)、セグメント利益は、112億45百万円(同87.1%増加)となりました。

② 米国

産業ガス関連の売上収益は、主力製品であるセパレートガスの出荷数量は減少しましたが、コスト上昇等を背景とした販売価格の改定効果により、増収となりました。機器・工事では、産業ガス関連はガス関連機器を中心に好調であり、エレクトロニクス関連も順調に推移し、増収となりました。

以上の結果、米国セグメントの売上収益は、820億51百万円(前年同期比19.1%増加)、セグメント利益は、111億91百万円(同20.0%増加)となりました。なお、円安の影響で売上収益及びセグメント利益は多く表示されています。

③ 欧州

産業ガス関連の売上収益は、主力製品であるセパレートガス及び炭酸ガスの出荷数量は減少しましたが、コスト上昇等を背景とした販売価格の改定効果により、増収となりました。機器・工事では、医療関連機器の販売が好調で増収となりました。また、生産性向上とコスト低減の取組みによる寄与がありました。

以上の結果、欧州セグメントの売上収益は、731億46百万円(前年同期比12.6%増加)、セグメント利益は、131億50百万円(同49.1%増加)となりました。なお、円安の影響で売上収益及びセグメント利益は多く表示されています。

④ アジア・オセアニア

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの出荷数量は減少しましたが、コスト上昇等を背景とした販売価格の改定効果により、売上収益は増収となりました。なお、主に豪州地域での販売が多くを占めるLPガスでは、販売単価及び販売数量は前期並みでした。エレクトロニクス関連では、東アジアで、客先の稼働状況による在庫調整や設備投資の先送りに伴い、ガス・機器ともに軟調で、大きく減収となりました。

以上の結果、アジア・オセアニアセグメントの売上収益は、384億69百万円（前年同期比 2.1%減少）、セグメント利益は、41億28百万円（同 10.6%減少）となりました。なお、円安の影響で売上収益は多く表示されています。

⑤ サーモス

日本では、ケータイマグ及びフライパンなどの調理用品の販売は堅調で、売上収益は微増でした。また、海外での販売は軟調でした。セグメント利益は、物価上昇による原材料価格の上昇と円安による製造コストの増加で、大きく減益となりました。

以上の結果、サーモスセグメントの売上収益は、75億84百万円（前年同期比 1.2%減少）、セグメント利益は、14億27百万円（同 27.2%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は2兆2,886億1百万円で、前連結会計年度末比で1,296億50百万円の増加となっております。為替の影響については、前連結会計年度末に比べ期末日レートが米ドルで11円46銭の円安、ユーロで11円88銭の円安となるなど、約1,349億円多く表示されております。

〔資産〕

流動資産は、売却目的で保有する資産の増加や現金及び現金同等物の減少等により、前連結会計年度末比で217億81百万円増加し、5,488億55百万円となっております。

非流動資産は、有形固定資産やのれんの増加等により、前連結会計年度末比で1,078億69百万円増加し、1兆7,397億45百万円となっております。

〔負債〕

流動負債は、社債及び借入金の増加や営業債務の減少等により、前連結会計年度末比で328億57百万円増加し、4,580億14百万円となっております。

非流動負債は、繰延税金負債の増加や社債及び借入金の減少等により、前連結会計年度末比で72億59百万円増加し、9,830億56百万円となっております。

〔資本〕

資本は、在外営業活動体の換算差額や親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加等により、前連結会計年度末比で895億33百万円増加し、8,475億30百万円となっております。

なお、親会社所有者帰属持分比率は35.5%で前連結会計年度末に比べ2.0ポイント高くなっております。

(キャッシュ・フローの分析)

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

税引前四半期利益、減価償却費及び償却費、法人所得税の支払額又は還付額等により、営業活動によるキャッシュ・フローは336億10百万円の収入（前年同期比 5.7%増加）となりました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

有形固定資産の取得による支出等により、投資活動によるキャッシュ・フローは249億75百万円の支出（前年同期比 25.5%増加）となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

長期借入金の返済による支出、短期借入金の純増減額、長期借入れによる収入等により、財務活動によるキャッシュ・フローは249億22百万円の支出（前年同期比 47.7%増加）となりました。

これらの結果に、為替換算差額等を加えた当第1四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は、1,224億23百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	132,217	122,423
営業債権	243,541	248,524
棚卸資産	97,612	103,642
その他の金融資産	22,479	25,304
その他の流動資産	26,152	31,538
小計	522,003	531,433
売却目的で保有する資産	5,070	17,421
流動資産合計	527,074	548,855
非流動資産		
有形固定資産	776,148	815,107
のれん	513,685	554,620
無形資産	242,334	255,757
持分法で会計処理されている投資	38,230	39,000
その他の金融資産	46,763	61,008
退職給付に係る資産	2,810	2,717
その他の非流動資産	8,461	8,016
繰延税金資産	3,442	3,515
非流動資産合計	1,631,875	1,739,745
資産合計	2,158,950	2,288,601

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	128,197	125,423
社債及び借入金	140,540	172,569
未払法人所得税	16,191	17,078
その他の金融負債	102,119	101,519
引当金	284	289
その他の流動負債	37,824	38,475
小計	425,157	455,356
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	2,657
流動負債合計	425,157	458,014
非流動負債		
社債及び借入金	759,480	749,866
その他の金融負債	35,693	37,103
退職給付に係る負債	14,117	14,608
引当金	5,440	5,767
その他の非流動負債	20,364	20,510
繰延税金負債	140,700	155,198
非流動負債合計	975,796	983,056
負債合計	1,400,953	1,441,070
資本		
資本金	37,344	37,344
資本剰余金	51,610	51,411
自己株式	△233	△234
利益剰余金	537,867	553,779
その他の資本の構成要素	97,724	170,761
親会社の所有者に帰属する持分合計	724,314	813,063
非支配持分	33,682	34,467
資本合計	757,996	847,530
負債及び資本合計	2,158,950	2,288,601

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	276,006	308,903
売上原価	△173,531	△187,077
売上総利益	102,475	121,825
販売費及び一般管理費	△72,659	△81,766
その他の営業収益	1,454	812
その他の営業費用	△4,245	△443
持分法による投資利益	446	286
営業利益	27,472	40,715
金融収益	1,058	1,605
金融費用	△2,990	△6,093
税引前四半期利益	25,540	36,226
法人所得税	△7,580	△10,683
四半期利益	17,959	25,542
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	17,285	24,558
非支配持分	674	984
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	39.95	56.74

要約四半期連結包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	17,959	25,542
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	△4,769	4,995
確定給付制度の再測定	14	9
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△27	11
純損益に振り替えられることのない項目合計	△4,782	5,016
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	48,851	68,547
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の 純変動の有効部分	△267	△499
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	891	461
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	49,475	68,509
税引後その他の包括利益合計	44,693	73,526
四半期包括利益	62,653	99,069
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	61,455	97,624
非支配持分	1,197	1,445

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2022年4月1日残高	37,344	55,945	△281	476,589
四半期利益	—	—	—	17,285
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	17,285
自己株式の取得	—	—	△1	—
自己株式の処分	—	—	53	—
配当	—	—	—	△7,787
支配継続子会社に対する持分変動	—	△686	—	—
企業結合又は事業分離	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	221
連結範囲の変動	—	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△686	52	△7,565
2022年6月30日残高	37,344	55,259	△228	486,308

その他の資本の構成要素

	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・ユ・フロン・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2022年4月1日残高	39,428	368	19,319	—	59,115	628,714	32,423	661,137
四半期利益	—	—	—	—	—	17,285	674	17,959
その他の包括利益	49,222	△265	△4,801	14	44,170	44,170	522	44,693
四半期包括利益	49,222	△265	△4,801	14	44,170	61,455	1,197	62,653
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	—	—	—	—	53	—	53
配当	—	—	—	—	—	△7,787	△442	△8,230
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	△686	△604	△1,290
企業結合又は事業分離	—	—	—	—	—	—	513	513
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△207	△14	△221	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	287	287
所有者との取引額等合計	—	—	△207	△14	△221	△8,421	△246	△8,667
2022年6月30日残高	88,650	103	14,309	—	103,064	681,748	33,374	715,123

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2023年4月1日残高	37,344	51,610	△233	537,867
四半期利益	—	—	—	24,558
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	24,558
自己株式の取得	—	—	△1	—
自己株式の処分	—	—	—	—
配当	—	—	—	△8,658
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△199	—	—
企業結合又は事業分離	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	28
連結範囲の変動	—	—	—	△16
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△199	△1	△8,646
2023年6月30日残高	37,344	51,411	△234	553,779

その他の資本の構成要素

	在外営業活 動体の換算 差額	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ の公正価値 の純変動の 有効部分	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	確定給付制 度の再測定	合計	親会社の所 有者に帰属 する持分 合計	非支配 持分	資本 合計
2023年4月1日残高	81,172	△284	16,836	—	97,724	724,314	33,682	757,996
四半期利益	—	—	—	—	—	24,558	984	25,542
その他の包括利益	68,560	△494	4,990	9	73,065	73,065	460	73,526
四半期包括利益	68,560	△494	4,990	9	73,065	97,624	1,445	99,069
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—	—
配当	—	—	—	—	—	△8,658	△553	△9,212
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	△199	△88	△287
企業結合又は事業分離	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△18	△9	△28	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	△16	—	△16
その他の増減	—	—	—	—	—	—	△17	△17
所有者との取引額等合計	—	—	△18	△9	△28	△8,875	△660	△9,535
2023年6月30日残高	149,732	△779	21,808	—	170,761	813,063	34,467	847,530

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	25,540	36,226
減価償却費及び償却費	25,586	27,126
受取利息及び受取配当金	△555	△1,011
支払利息	2,983	6,083
持分法による投資損益(△は益)	△446	△286
有形固定資産及び無形資産除売却損益(△は益)	150	1
営業債権の増減額(△は増加)	2,070	△1,599
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,792	△3,399
営業債務の増減額(△は減少)	△4,701	△3,439
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△331	△82
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	203	228
その他	△989	△11,502
小計	41,717	48,346
利息の受取額	51	490
配当金の受取額	876	1,355
利息の支払額	△2,834	△6,922
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△8,009	△9,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,801	33,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,849	△25,093
有形固定資産の売却による収入	321	367
投資の取得による支出	△116	△24
投資の売却及び償還による収入	527	77
子会社の取得による支出	△107	—
子会社の売却による収入	—	154
その他	△673	△457
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,897	△24,975
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	17,473	14,281
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	3,000	△5,000
長期借入れによる収入	52	12,914
長期借入金の返済による支出	△26,971	△34,853
リース負債の返済による支出	△2,751	△3,165
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△71	△33
配当金の支払額	△7,787	△8,658
非支配持分への配当金の支払額	△442	△553
その他	622	145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,876	△24,922
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	1,812	7,407
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,159	△8,881
現金及び現金同等物の期首残高	93,697	132,217
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△912
現金及び現金同等物の四半期末残高	90,537	122,423

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。なお、報告にあたって事業セグメントの集約は行っていません。

当社グループは、鉄鋼、化学、エレクトロニクス産業向けなどに国内外でガス事業を行っており、主要製品に関しては、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの各地域において、それぞれ生産・販売体制を構築しております。また、ステンレス製魔法瓶など家庭用品の製造・販売などの事業も行っております。したがって、当社は、「日本」「米国」「欧州」「アジア・オセアニア」「サーモス」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス
日本	酸素、窒素、アルゴン、炭酸ガス、ヘリウム、水素、アセチレン、ガス関連機器、特殊ガス（電子材料ガス、純ガス等）、電子関連機器・工事、半導体製造装置、溶断機器、溶接材料、機械装置、LPガス・関連機器、医療用ガス（酸素、亜酸化窒素等）、医療機器、安定同位体
米国	
欧州	
アジア・オセアニア	
サーモス	

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。なお、セグメント間の内部売上収益又は振替高は、主に市場実勢価格に基づいております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益及び損益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	日本	米国	欧州	アジア・ オセアニア	サーモス	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	95,150	68,891	64,976	39,286	7,679	275,984	22	276,006
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	3,867	6,037	55	755	2	10,718	△10,718	—
計	99,018	74,928	65,032	40,041	7,681	286,702	△10,696	276,006
セグメント利益(注2)	6,011	9,325	8,816	4,615	1,961	30,731	△457	30,274

(注) 1. セグメント利益の調整額△457百万円には、セグメント間取引消去△132百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△324百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに配分していない当社におけるグループ管理費用であります。

2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	日本	米国	欧州	アジア・ オセアニア	サーモス	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	107,629	82,051	73,146	38,469	7,584	308,880	22	308,903
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	3,333	6,002	75	722	3	10,137	△10,137	—
計	110,963	88,054	73,221	39,192	7,587	319,018	△10,115	308,903
セグメント利益(注2)	11,245	11,191	13,150	4,128	1,427	41,142	△394	40,748

(注) 1. セグメント利益の調整額△394百万円には、セグメント間取引消去△30百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△364百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに配分していない当社におけるグループ管理費用であります。

2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

セグメント利益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
セグメント利益	30,274	40,748
仲裁裁定に伴う損失	△3,397	—
その他	595	△33
営業利益	27,472	40,715
金融収益	1,058	1,605
金融費用	△2,990	△6,093
税引前四半期利益	25,540	36,226